

2017年3月

「トラブルから学ぶ配管技術」(978-4-526-07385、初版第1刷)

【正誤表】

本書内に下記誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

頁	場所	誤	正
54	図 5-1	【例 1】の抵抗曲線	【例 2】の抵抗曲線
57	図 5-3	$H_0 - H_S - h_L$	$H_a - H_S - h_L$
63	下から 6行目	縦軸	横軸
		横軸	縦軸
80	上から 4行目	バルブから	バルブを
83	図 5-26	空気抜弁	空気抜弁(負圧の場合使えない)
85	上から 9、10 行目	運用制限なしで送水するには、導水管凸部に自動空気弁を設け、常時空気を排出する。	導水管等の凸部の空気を抜くのに自動空気弁が有効だが、管内が負圧になる場合は使えない。
113	図 5-52	振幅	換算減衰率
		流速	換算流速
133	図 5-67	Bとの接続部に記号なし Cとの接続部の記号が b	Bとの接続部の記号が b Cとの接続部の記号が c
153	下から 2行目	図 5-87②	図 5-87①
158	図 5-90	鉄鯖	鉄鑄
179	上から 8 行目	ボルト穴中心振り分け	ボルト穴は中心線振り分け
194	上から 8 行目 上から 9 行目	溶接要領書 溶性	溶接施工要領書 溶接性
206	下から 11 行目 最後の行	偏心 偏心	2重偏心 2重偏心

207	図 8-9 図 8-10 上から 2 行目 上から 4 行目	にたわむ へたわむ	下図に差し替える 下図に差し替える なトルクが生まれる のトルクが生まれる
-----	---	--------------	--

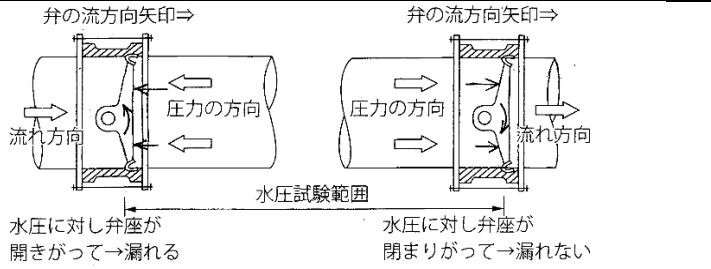


図8-9 上流側のバルブが下流からの圧力に対し漏洩

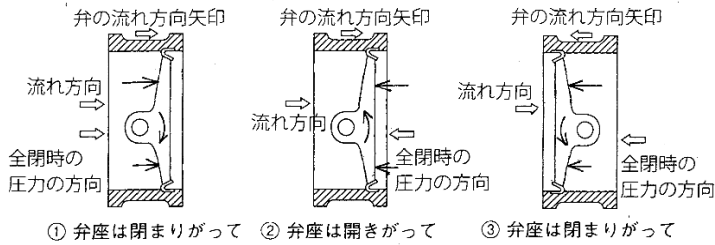


図8-10 ハイパフォーマンスバタフライ弁の方向性

212 頁
 図 8-15 の一部

